



島中だより

【今年度の重点目標】

新しい社会を
創り出す
能力や態度の育成



令和8年1月30日 第10号

学校ホームページも随時更新中!

ぜひ読んでもらいたい作文

校長 梶原 大

新しい年を迎え1ヶ月が経とうとしていますが、1月15日(木)に3学期始業式を迎えました。24名全員が揃い、始業式を迎えられたことに感謝するばかりです。今年も、生徒一人ひとりが安心して過ごすことができる学校になるように教職員一同、全力で進めてまいります。学習面をはじめ、心と体の健康、人間的な成長を大切に、生徒のみなさんのこれからのほうがより豊かになるよう、学校全体で支えていきます。保護者の皆様そして地域の皆様におかれましても、あたたかいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとって実り多く、希望に満ちた一年となることを心よりお祈り申し上げます。

今月、学校に内閣府が発行した1冊の本が届きました。「令和7年度『心の輪を広げる体験作文』『障害者週間のポスター』入賞作品集」です。その中にあった作文を読みましたが、皆さんにも是非読んでもらいたいと思いましたので、紹介いたします。

ほかにも中学生や高校生が書いた心の輪が広がるような作品がありました。紙面の都合上、この1作品のみを紹介いたします。他の作品を読みみたい人は、図書館に置いてあるので、ぜひ手に取って読んでもらいたいです。

令和7年度「心の輪を広げる体験作文」内閣府

小学生区分 最優秀賞「人間のカベ」 道外の小学校 5年生の作文

今でも私は一組の家族に感謝しています。それは二年前のことです。その日はお母さんとお姉ちゃんと商業施設に買い物へ来ていました。二階から三階へ移動するのにエスカレーターへ向かっていた時です。突然お姉ちゃんの大発作が起きてしまいました。

「お姉ちゃんの大発作だから、この場所で横にするから止まってて。」

とお母さんが大きな声で言いました。私はあわてて振り返ってお姉ちゃんを見ました。

「大変だ、沢山の人の前で倒れちゃった。」

と思いました。休日で多くの人が行きかっていたので、横目で見ると通りすぎる人、怖い物を見た表情の人が多くて悲しい気持ちになりました。

「どうしよう。」

その時、

「私は看護師です。何かお手伝いします。救急車を呼びますか。」

とお姉さんがお母さんに声をかけてきました。続けて一組の家族が私に声をかけてくれました。

「私達は何もできません。ただ回りの人から見えない様に壁になるので、お姉さんの発作が戻るまで立っているのが気にせず対処して下さい。」

とすごく気になって悲しい気持ちになってた私ですが、その言葉でほっこりとして、あたたかい気持ちに変わりました。

お姉ちゃんには持病があり障害者手帳を取得しています。バックにはヘルプマークをつけています。毎月大きな発作が起き、時には転倒してケガをします。見ていて私は辛いです。早くお姉ちゃんにあった薬が開発され、発作がなくなる事を祈っています。

病気がありますが、私にとって世界で一人の大切なお姉ちゃん大好きです。

そんなお姉ちゃんのピンチに、多くの人から見えない様に立って下さった家族の方に感謝しています。

見て見ぬふりをする人がほとんどでしたが、「声をかけてくれた事、そして壁になってくれて心強かったです。何も出来ないと言われてましたが全く逆です。」

今後私でもその様な場面にそうぐうした時は、自分に出来る事でお手伝いをしたいと思います。あの時はバタバタしててしっかりとお礼が言えませんでした。

「人間の壁、とても大きく、高い壁でした。そしてあたたかい壁でもありました。本当にありがとうございました。」

と伝えたいです。

この作品を読んで皆さんは何を感じたのでしょうか?おそらく私だったらこのご家族とは異なり、自分には何もできないと思って通り過ぎたかもしれません。皆さんにはこのご家族のようになってほしいです。また、人からの優しさに感謝する心、そしてこの体験をもとにこれからの自分の人生に活かしていこうとする筆者の姿勢を、私自身も更に大切にしたいと思いました。

3学期期始業式 ～清々しく、気持ちを新たに～

15日(木)に行いました。生徒はとても清々しい表情で式に臨み、冬休みを経て新たな気持ちでスタートを切ろうとする意欲が感じられました。代表生徒からは、冬休みの思い出や3学期に向けた抱負が述べられました。一つひとつの言葉には、これから始まる学期をより良いものにしたいという前向きな気持ちが込められており、全校生徒にもその思いがしっかりと伝わってきました。3学期は1年間のまとめとなる大切な時期です。生徒一人一人が目標をもって日々の学習や生活に取り組み、充実した学期となることを期待しています。

各学年の代表生徒が、冬休みの思い出と3学期の抱負を発表。



まずは校歌斉唱。島中生はいつも声量豊かで美しい歌声です。



スキー学習が始まりました ～本場ニセコ、恵まれた環境で～

23日(金)、今シーズン最初のスキー学習を行いました。連日の降雪でゲレンデはふわふわの雪質となり、絶好のコンディションの中で、生徒たちは気持ちよく滑りながら技術向上に取り組んでいました。今年度も、村のご支援によりスキー学習2回とスキー遠足1回をニセコアンブリ国際スキー場で行う予定です。国際リゾートで学べる貴重な機会に感謝しつつ、生徒が生涯にわたりウィンタースポーツに親しめるよう、今後の学習も充実させていきます。

ご覧のとおり、雪の量はもう十分すぎるほど。素晴らしいコンディションでした。



今年度初のスキー学習でしたが、何本か滑るうちに雪の感触を思い出せたようです。



ランチは持参したお弁当。早朝からお弁当を準備いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

2年生福祉体験 ～利用者の方々と触れ合いながら～

20日(火)、村内の「元気センター」様と「潮の音」様にご協力いただき、福祉体験学習を実施しました。生徒たちは、高齢者の方々と触れ合いながら、レクリエーションの補助やお茶の提供など、福祉の仕事の一部を体験しました。また、「利用者の方々がより楽しめるようにするにはどうしたらよいか」という課題をもって臨み、声のかけ方や関わり方を工夫して活動していました。今後は、この体験をもとに生徒がアイデアをまとめ、より良い福祉サービスについて発表する予定です。



食事の準備を体験中。

輪投げゲームの進捗を生徒が行いました。はきはきと大きな声で進めていました。



体力向上プロジェクト ～冬も元気に体カづくり～

本校では、生徒が運動に親しみ、進んで体を動かす態度を育てることを目的に、年間15回にわたり「体力向上プロジェクト」を進めています。その活動のひとつである「なわとび」の記録を、道教委が主催する『どさん子元気アップチャレンジ』にエントリーしました。日頃の取り組みの成果が実を結び、なんと全道第1位から第3位までの上位に、5名(6件)が入賞する快挙となりました。

これからも運動に親しみます!



<短縄跳び 全道大会 学校部門 第1期>
「なわとびトライ」(前跳び)第2位、第3位
「なわとびチャレンジ」(2重跳び)第1位
「なわとびスピード」(かけ足跳び)第1位、第2位、第3位

入賞おめでとう!

入賞した皆さんおめでとうございます。これからも、体を動かす楽しさを大切にしながら、全校で体力向上に取り組んでいきます。